

◇ 環境配慮や省エネ、再生可能エネルギーに取り組んだ施設 ◇

東京ガス立川ビル

利用方式：雨水利用方式

活用用途

水洗トイレ洗浄水：全館

植栽灌水：外構部、屋上緑化

防災：消防水利、雑用水の災害時利用

概要

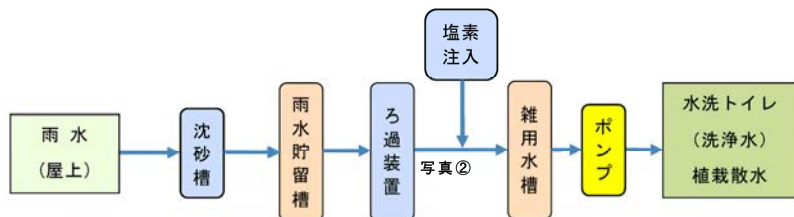
- 太陽光発電や太陽熱利用ガス温水システム等の再生可能エネルギーの活用とともに、ガス発電やガス設備による省エネシステムなどを運用している施設。
- 雨水利用は環境配慮の一環として取り入れ、節水効果も期待した。
- エントランスのモニター画面で、雨水の利用状況を確認できる。

導入効果

- 上水道使用量を削減している
- 消防水利及び災害時の雑用水に利用可能

雑用水活用フロー

ビル屋上から集水した雨水を雨水貯留槽に貯め、消防水利や災害時に雑用水としても利用できる。ろ過装置で濾過した水は、地下ピット内の雑用水槽に貯留し、水洗トイレの洗浄水などとして利用している。



設備等の状況



写真① 施設の外観



写真② ろ過装置及び塩素注入装置

雨水貯留槽の雨水をろ過処理した後、残留塩素が基準濃度以上になるように塩素を注入して殺菌を行う。



写真③ 植栽への灌水

処理した雨水は、屋上緑化や外構部の植栽への灌水にも用いられている。



写真④ 雨水利用の消防水利と手動ポンプ

地下ピット内の雨水貯留槽内の水は、消防水利として利用できるとともに、非常時には手動ポンプで汲み上げて雑用水として利用することも可能である。

施設の諸元

施設の用途	事務所		
施設の構造	地上5階 (ビルの高さ28.92m)		
敷地面積 (m ²)	15,218.23	竣工年	2015年
延べ床面積 (m ²)	10,603.18	施設設置場所	1階
雨水	処理方式	ろ過装置、塩素殺菌	
	集水面積	2,315 m ² (屋上)	
	雨水貯留槽容量	200 m ³	
雑用水貯留槽容量	20 m ³		
補給水量	453 m ³ /年 (上水道)		
雑用系用途年間利用量	2,897 m ³ /年		